

テーマ 「AI × 地域 ～AIで変える加古川地域の未来～」

具体的な「課題」を見つけるための5つの視点

1. 持続的な「地域」づくりを目指す

人口が減少する中で、加古川地域でも、まちなかの空き店舗や住宅地の空き家、放棄された農地といった問題が発生しています。人が集まる機会が減ると地域はさびれてしまいます。たとえば、農地が放棄され、ごみの不法投棄などが増えれば地域の美しさは失われてしまうでしょう。人が集まり、にぎやかさをもった地域、美しい地域を持続するための課題や解決策を考えましょう。

2. 若者を夢をもって育つ、そのような「人」づくりを目指す

若者が減少する中で、いきいきとした社会を築くためには、子どもや若者たち一人ひとりが未来に希望をもって、行動することが期待されます。加古川地域において、彼ら/彼女らが理想を持ち、希望に向かって果敢にチャレンジをする、そのような人づくりのために必要な課題や解決策を考えましょう。

3. 資源を活かし環境に優しい「社会」づくりを目指す

平野に農地やため池が広がり、その中心を加古川が流れる、加古川地域は緑と水に恵まれ、豊かな環境資源を擁しています。ところで現代では、ヨーロッパや中国で電気自動車への転換が推進されているように、低炭素社会への取り組みも期待をされています。加古川地域の環境資源を維持し、さらに活かして、環境に優しい社会づくりに必要な課題や解決策を考えましょう。

4. グローバルに拡大する「交流」づくりを目指す

深い歴史的・文化的な蓄積、豊かな食、川・海の美しい環境とそこでのレジャー、そして何よりおもてなしの心を持った人々。加古川地域は世界からより多くの観光客を集め得る潜在的なパワーを秘めています。多くの人が行き交う中で、新たなビジネス・チャンスが生まれるかもしれません。そうしたグローバルな交流を盛んにするために必要な課題や解決策を考えましょう。

5. 誰もが健康で社会とつながる「ウェルネス」づくりを目指す

ウェルネスとは、身体健康、心の健康とともに、社会的、そして精神的にも健康な状態を意味します。高齢になり、たとえ身体の一部が不自由になっても、社会の支えによりウェルネスを実現することは可能です。個人を取り巻く社会とつながり、よりよい関係を生み出すことのできる、ウェルネスづくりに必要な課題や解決策を考えましょう。

*ここでの「加古川地域」とは、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町を含む地域を指します。